

横浜市インフルエンザ流行情報 10号

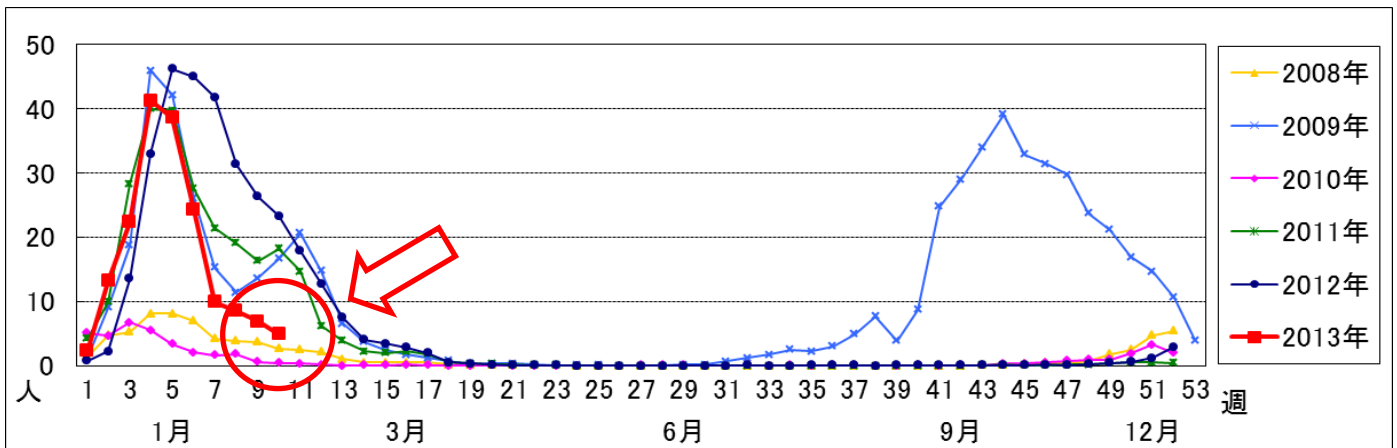
横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

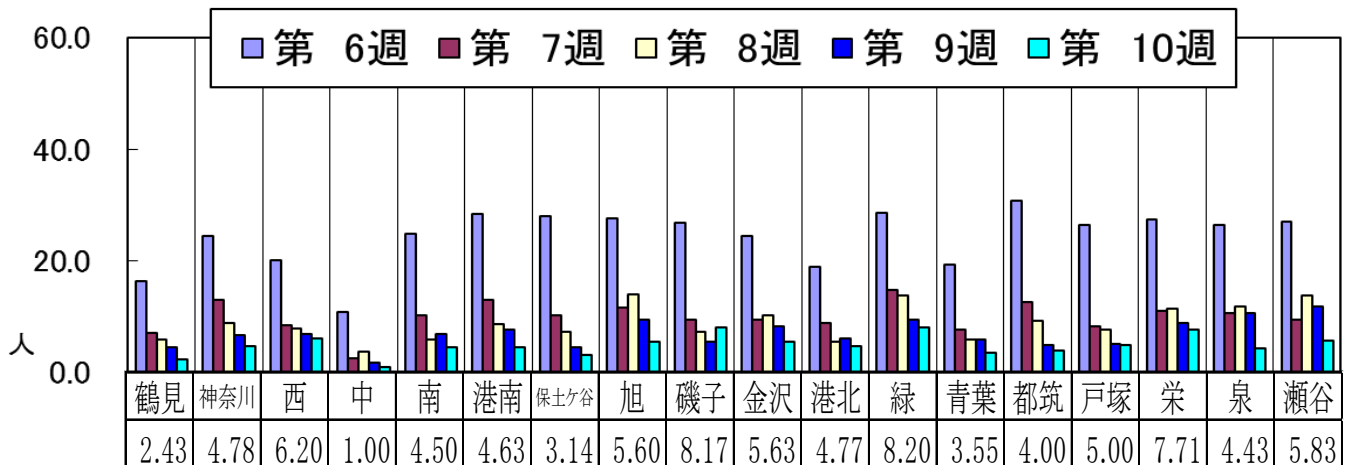
- 報告数は減少しており、すべての区で、警報、注意報レベルを下回りました。
- 市全体で、定点*あたり 10.00 を下回ったのは、昨シーズンは第 13 週 (2012 年 3 月 26 日~4 月 1 日) でしたが、今シーズンは第 7 週 (2013 年 2 月 11 日~17 日) でした。
- 現時点では、昨シーズンに比べ B 型の流行は小規模です。

※定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 152 か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

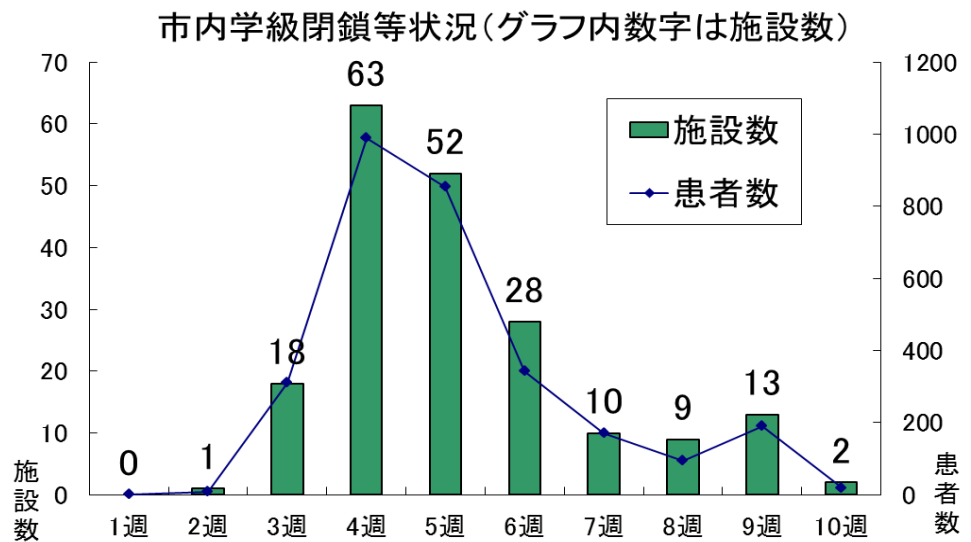
1 市内流行状況:第 10 週(3 月 4 日~10 日)は定点あたり 4.91 と、さらに減少しました。



2 区別流行状況:警報、注意報レベル(警報開始基準値 30.00、注意報開始基準値 10.00)の区はありません。

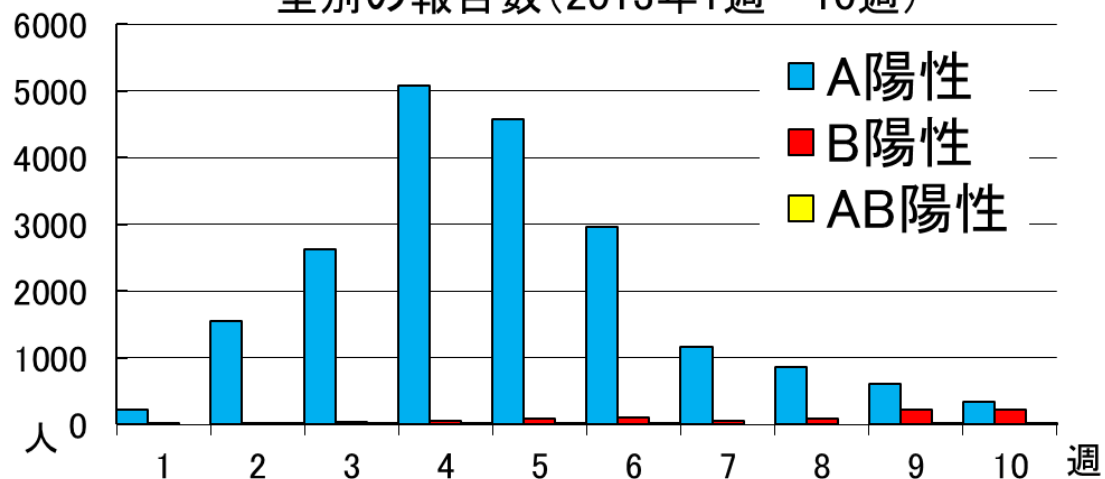


3 市内学級閉鎖等状況:
 第10週では、前週よりも閉鎖のあった施設数は減少しました。第10週の施設種別では、小学校1件、幼稚園1件でした。



4 迅速キット結果:第10週では、迅速キット陽性例のうち、A型60.3%、B型39.4%、A、B型ともに陽性0.4%(小数点第2位四捨五入)となっています。B型の割合が多くなってきていますが、昨シーズンと比べ報告数自体は少なめです。

【今シーズン】迅速診断用検査キットによる
 型別の報告数(2013年1週~10週)



【昨シーズン】迅速診断用検査キットによる
 型別の報告数(2012年1週~10週)

